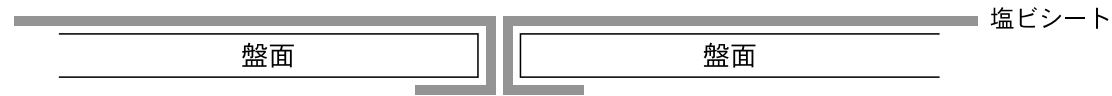
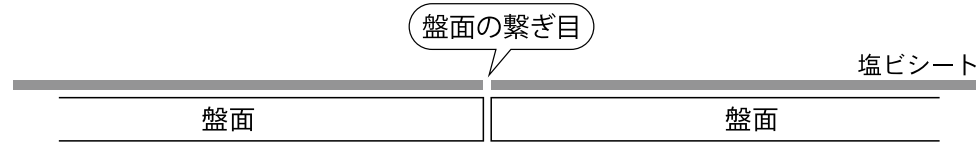


塩ビ粘着シートの推奨施工例

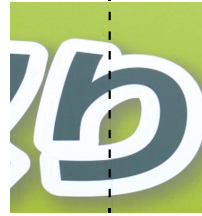
例1) 盤面に継ぎ目がある場合、盤面毎に切り離された塩ビシートを作成し、下図のように盤面をくるむように裏面に巻き込んで貼り付けてください。その際、盤面の一边だけでなく全ての辺を裏面に巻き込んでください。盤面小口の塩ビシートが浮いている場合、膨れの原因になります。



例2) 裏面に巻き込みができない場合は、盤面に沿って塩ビシートを断ち切りしてエッジ部分をよく加圧して貼り付けてください。塩ビシートがはみ出していると、剥がれの原因になります。必ず盤面に沿って断ち切ってください。



盤面継ぎ部分でシート断ち切り



不具合が生じやすい施工例 ※表記耐年数より早期に不具合が生じる場合があります

例1) 盤面の継ぎ部分に被せてシート貼りした場合、シートが浮いたり裂けたりします。シートが浮くと膨張し伸縮を繰り返すことで、継ぎ目以外の部分まで不具合の影響を及ぼします。



例2) 盤面の継ぎ目でシートを分割重ね貼りした場合、シートが浮いたり裂けたりします。シートが浮くと膨張し伸縮を繰り返すことで、継ぎ目以外の部分まで不具合の影響を及ぼします。



例3) 盤面の継ぎ部分をアルミテープで処理し、その上にシートを貼った場合は盤面の継ぎ目やアルミテープの端でシートが裂けます。アルミテープ以外でも不具合が生じます。



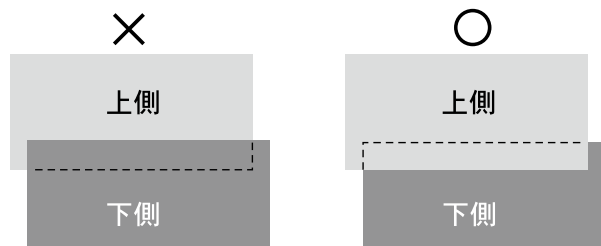
例4) ビス部分に大きな窪みや膨らみがある部分にシート貼りした場合、シートやラミネートが浮いて膨張し伸縮を繰り返すことで、浮きやしわなどの不具合が生じます。



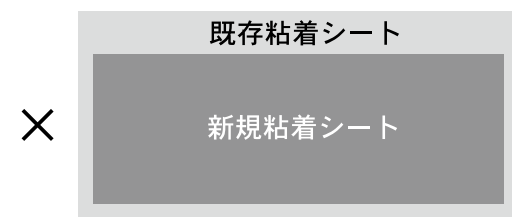
例5) 塩ビシートが盤面からはみ出している場合や、盤面の角が潰れた部分に貼られた場合はシートが縮んで剥がれます。



例6) 上下の分割貼りで、下側を最前面に貼られた場合、雨や埃が入り剥がれの原因となります。



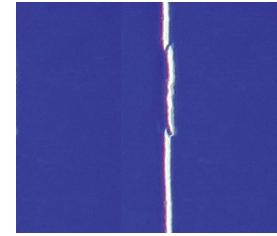
例7) 既存粘着シートの上から新規粘着シートを上貼りされると、浮き等の不具合が生じ、剥がれの原因となります。



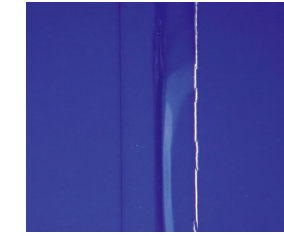
塩ビシートの施工について

施工後に下記のような不具合が生じる可能性がありますのでご注意ください。

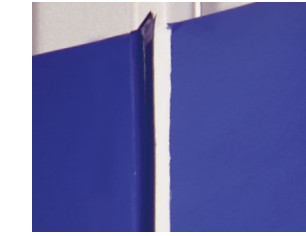
盤面継ぎ部分に被せ貼り
盤面継ぎ目で剥がれたり裂けたりします。



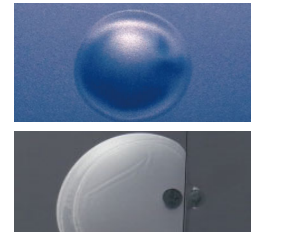
盤面継ぎ部分にテープ貼り
シートが浮いたり切り裂けたりします。



盤面継ぎ部分にアルミテープ
シートが切り裂けたりテープごと剥がれます。

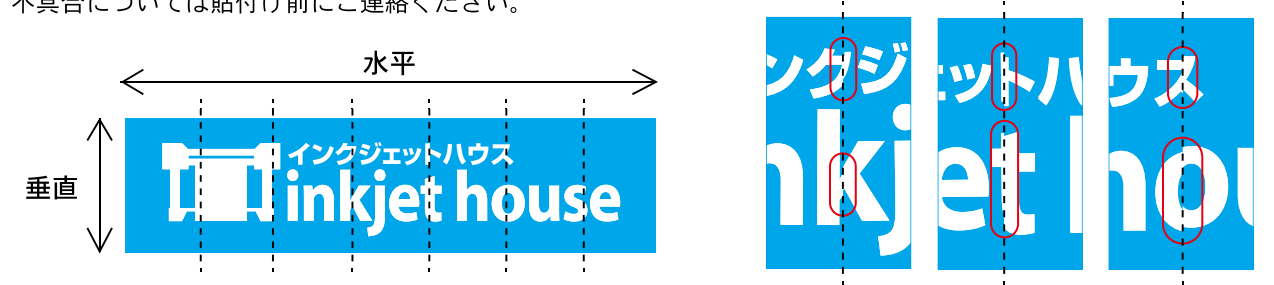


ビス部分にシート上貼り
密着が悪い場合はシートやラミネートが浮きます。



分割シートの施工について

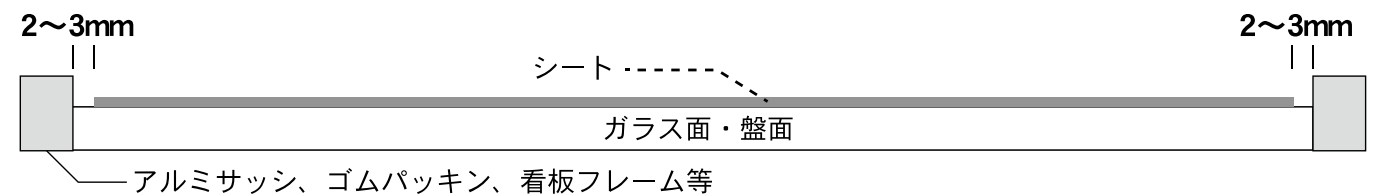
分割貼りの際には、水平・垂直・重ねしるを確認し、慎重に施工してください。シートの印刷サイズが適正であっても、水平・垂直・重ねしるに誤差があると下図のように絵柄がずれてしまいます。また、貼付け時にかかる力でシートはある程度伸びる性質があります。シートの伸び率は印刷された色によっても変化するため、文字や絵柄がずれないように貼付け時には力加減にご確認ください。シート貼付け後は問題の特定が難しくなるため、シートの印刷ズレ等の不具合については貼付け前にご連絡ください。



ガラス面等の施工について

ガラス面：油分や汚れがあると剥がれの原因になりますので、綺麗に洗浄してから施工してください。アルミサッシやゴムパッキンから必ず2~3mm隙間を設けて施工してください。緩衝しているとシートが縮んで剥がれの原因になります。透明シートの水貼りの場合は水分が抜けず白濁しますので、水分を完全に抜き取りエッジ部分をしっかりと密着させてください。温度が低いと粘着力が下がるため、冬季や気温が低い場所では窓ガラスを温めてから施工してください。

盤面：看板フレームなどにシート端が緩衝しているとシートが縮んで剥がれます。シートがフレームで強く押さえつけられている場合は、剥がれや浮きなどの不具合が生じる場合があります。緩衝している箇所がないことをご確認ください。



その他シートの施工について

- 塩ビシートに再剥離糊シート上貼り：糊が残るなど様々な不具合が生じるため、上貼りしないでください。
- 既存シートに反射シート上貼り：下地の絵柄が表面に写り出てくるため、上貼りしないでください。
- 既存シートに新規シート上貼り：浮きや剥がれなど様々な不具合が生じるため、上貼りしないでください。
- ワイヤ入りガラス面にシート貼り：ガラスが割れる可能性があるため、シート貼りしないでください。

ターポリンの施工について

ターポリンは塩ビ製のため、幕が風にあおられますと特に気温が低い場合は短期間で生地がひび割れを起こします。ハトメピッチを細かくし、風に揺られないよう幕をピンと張ってロープでしっかり固定してください。



幕が風にあおられますと生地がひび割れを起こし写真のようなフラタリング現象が生じます。



写真のような金具での取付けは、ハトメが取れたり生地が破れる可能性があります。